

今月の一言

キーワード：常識は、単に過去の時代につくられた小さな思考の枠に過ぎない

もっとも強い者が生き残るのではなく、もっとも賢い者が生き残るのでもない。
唯一生き残るのは、変化できる者である ダーウィンの名言

企業に当てはめると“変化できる者”とは、いかなる変化にも耐え得る普遍的な底力を持ち、時代の流れに適合する柔軟性を備え、そして時として、変化そのものを創り出す創造力ある企業と言えるでしょう。そうした企業は、はじめのうちは“業界の”常識人からみると、業界の辺境にいる異端児であることも少なくないのです。

特に社会のありようが大きく変わろうとするとき、今まで業界の非常識だといわれたことや弱みだと思われていたことが、それを突き詰めることによって、いつの間にか他社の追随を許さない圧倒的な優位性になることが少なくありません。“弱み”という先入観は、視点を変えると他にはない“強み”である。 著書：21世紀をつくる人を幸せにする会社 著者：坂本 光司より抜粋

360度グルット見渡して、
時代・地域・会社・自分を見つめなおそう！
先入観を持たないで・・・

2012年9月25日

さいのう とおる

追伸：秋分も過ぎ、涼くなりました。体調管理には十分留意して下さい。